



さわやかな風が気持ち良い過ごしやすい季節になってきました。どのクラスも落ち着いて学校生活を送っています。

5月の全校朝会で、校長先生から「授業」についてのお話がありましたので、一部抜粋して紹介します。

さて授業とは何でしょうか？

授業という字は、手へんに「受ける」と書いて、業と書きます。学校で学問や技芸を教え授けること、学校の一定の単位で区切られた時間、例えば50分間に展開される各教科の教育活動をさすと示されています。その他にも、道徳や委員会活動や学級活動、学校行事などの特別活動も広く考えると授業に含まれると思います。学校生活の大半が授業です。



授業は、教師と教材と生徒の3つで構成されています。先生方は、一生懸命に教材研究を行い、皆さんに学習内容を提供します。皆さんは教材を使って授業の時間に学習することになります。

つまり、授業は、先生方と生徒の皆さんで作っていくものなのです。

今、皆さんに求められている力があります。

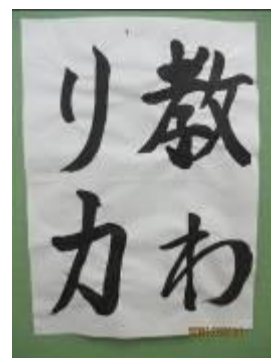
それは、①知識や技能、②思考する力・判断する力・表現する力 ③学びに向かう力、人間性 と整理されています。先生方もそれを意識して、授業を行っています。

だから先生方は授業で皆さんに働きかけます、問いかけます。そして、皆さんに力をつけようとしています。

日本大学教授の佐藤靖雄氏が、ある教育誌に「教わり力」というコラムを執筆されていました。大学生を教えるときに、いろいろと佐藤氏がアドバイスを送ったときに意欲的な反応を示す学生がいる一方で、あまり積極的に反応しない学生がいるそうです。

前者の学生は、アドバイスに対して「そうだったのか」「そこまでは知らなかった」「この場合はどうしたらよいのか」といった反応をします。佐藤氏は学生の求め以上にいろいろとアドバイスをおくるそうです。

一方で後者の学生には「ある程度理解しているんだな」と思い、簡単なアドバイスで終わってしまうそうです。



佐藤氏は、教え方も大事だが、教わる方には、どう教わるかという「教わり力」が必要だと述べています。アドバイスに積極的に反応する「教わり力」が高い学生は、教師の「教え方」をうまく引き出している。「教わり力」の低い学生には資質に応じた指導を行うが、どうしても必要なこと以上は教えにくくなってしまうと述べています。

この話を聞くと、先生方からの働きかけに積極的に反応して先生方の教え方をうまく引き出すほうが、何かを学ぶ上ではよいことであることがわかります。

ぜひ皆さんは「教わり力」を意識して授業に臨んでみたらどうでしょうか。

よい授業を先生方と皆さんで作ってくれることを期待しています。

さて今年度よりタブレットを活用した授業を本格的に行うことになりました。

まだまだ皆さんも先生方も慣れないところがあります。この新しい学習の仕方は、始まったばかりですが、全国のどの学校でも行われています。

黒板に書かれている内容を丁寧にノートに写したり、整理したりして覚えるという学習も大事ですが、タブレットを使用して自分の考えを表現したり、仲間の考えを理解したりする学習に、恐れず、嫌わずに挑戦してみてください。「教わり力」を身につけ、たくましく生きる生徒を目指しましょう。

(2021年5月11日全校朝会 学校長講話より)

今年度、東新潟中学校では、『ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現』を目指して、授業を行っていきます。目指す生徒像は、「自分の考えを自分の言葉で表現し、対話を通して思考が深まる生徒」です。ICTを活用することで、なかなか自分の考えを進んで発表できなかった生徒も、タブレット等を活用することで他の人との交流がしやすいような工夫ができればよいと考えています。

5月25日は、計画訪問があり、6つのクラスで授業公開が行われました。詳しい内容については、裏面をご覧ください。

どのクラスも、生徒が目を輝かせながら生き生きと活動に取り組んでいる姿が見られました。授業後の先生方の協議会では、今後の授業にどのように生かしていきたいかなどについて、活発な意見交換が行われました。



祝 功労表彰が決定！

市の青少年育成協議会より、東新潟地区青少年育成協議会 会長 増井 智子様へ「功労表彰」が決定しました。増子様は、いつも東新潟中学校を温かく、そして力強く見守ってくださっています。本当にありがとうございます。

1年4組 音楽（松川知樹先生）

「季節の風景を音楽で描く、その描き方の秘密を解き明かそう」

ICT を活用して音楽と楽譜を一緒に掲示することで、苦手な生徒も分かる授業を目指しました。



2年3組 英語（南場健一先生）

「質問したり、情報を付け加えたりしながらチャットをしよう」



4人一組の小グループになっ、チャットを互いに動画で撮り合い、班内で繰り返し練習することで、自分の課題を改善できるように工夫しました。

3年3組 国語（稲葉 丞先生）

「自分や仲間の『明日への活力』になる「論語」日めくりカレンダーを作ろう！」



自分の選んだ孔子の論語について、選んだ理由やクラスのみんなへ伝えたいメッセージなどについて、ICT を活用して意見交換しました。

7・8組 総合（青田美香先生・高橋映子先生）

「体験でお世話になった作業所の方に観光マップを届けよう！」



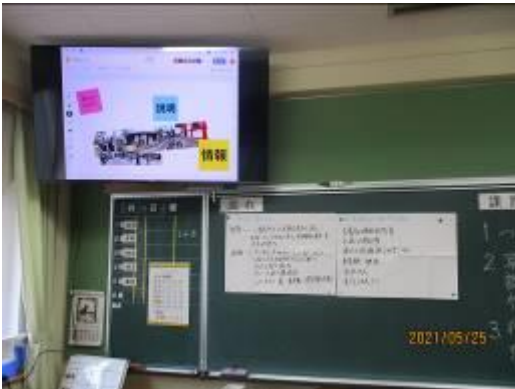
事業所の方々に喜んでもらえる観光マップにするにはどうしたらよいかをペアで相談しながら考え、記事にまとめました。



9組 自立活動（横山礼子先生）

「未来の自分新聞を作って発表しよう」

「未来の自分新聞」を描くためにどうしたらいいかについてまとめたことをICTを活用して発表しました。



今回の授業をするにあたり、授業をした先生方は、「この単元で、生徒にできるようになってほしいことは何か?」「そのために毎時間の授業でどんな活動をしたらいいのか?」を真剣に考え、研究推進委員会のメンバーと話し合いました。そして実際に授業をやってみて、「もっとこうの方がいい」と思ったことは、次の授業で工夫をしてきました。

公開授業の日は、どのクラスの生徒も素晴らしく、一生懸命課題に取り組んでいました。授業をした先生方は、「生徒が本当によく頑張っていた。今日の授業をやった良かった。」と言っていました。参観した先生方からは、「一生懸命思考をめぐらせている様子や、仲間の意見を聞いてさらに深く考えている様子が伝わってきた。」という声があがりました。

職員一同、今回の授業をヒントにして、これからの授業をもっと良くしていきたいという思いになりました。

（研究主任 竹内 明子）